

問題 I

以下の文章の空欄 (1) (2) から (9) (10) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (カ) に関連する設問 1 から 6、および文章全体に関連する設問 7 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。なお、以下の文章中の宗教 A から宗教 E は、それぞれ特定の宗教を指す。

宗教は、時として権力と結びつきつつ、また時として権力や文化の影響圏の境界を越えて、広大な地域にまで信仰を浸透させていく力を有している。そしてまたその影響力は、時として特定の時代を超え、長期にわたって継続していく。

たとえば、後に中国で祇教と称される宗教 A は、3 世紀、イラン高原に建国された王朝の初代の王、(1) (2) 1 世によって正式に国教と定められたものであった。

マウリヤ朝の最盛期であった前 3 世紀に第 3 代の王が帰依し、統治の理念とした宗教 B は、後 2 世紀にカニシカ王がインダス川流域の (3) (4) を首都と定めた王朝においても影響力を維持し、アジア諸地域の一般の人びとへと影響圏をひろげていくことになる。

さらに 4 世紀以降、グプタ朝においては、宗教 B とともに、(ア) バラモン教を基礎として展開した宗教 C が社会的に定着した存在となり、(イ) 二つの宗教の影響は美術や文化においても顕著なものとなる。 6 世紀以降、グプタ朝が衰退するにつれ、この王朝の支配が弱まった地域では、宗教 B の勢力も徐々に衰えていく。そうした地域の支配者の多くは、当時、宗教 C を信仰したが、(ウ) 7 世紀にヴァルダナ朝を興した王は、宗教 B を排斥しようとはしなかった。 この王が統治した時代、旅行記『大唐西域記』の著者となる人物が中国から訪れ宗教 B を学び、この王の厚遇をうけた。

7 世紀、メディナに形成されたウンマを足掛かりとして勢力を伸ばした宗教 D は、教派間の対立をはらみつつも、カリフの (5) (6) によって新都とされ、(エ) 762 年から円城が造営されたバグダードや、 ダマスクス、カイロ、コルドバ、マラケシュなどの都市を中心として影響圏を拡大していった。宗教 D を信奉する勢力の影響は、インドやサハラ砂漠以南のアフリカにもおよび、インドではデリーを首都として、宗教 D を支持する (オ) いくつかの王朝が成立した。 また、アフリカの諸王国のなかで、チャド湖周辺地域を領有した (7) (8) 王国では、王の改宗を経て、宗教 D の影響力が強まった。

4 世紀から 5 世紀にかけての、(カ) 教義の正統性をめぐる議論を経て、 宗教 E は、そこで正統と定められた教義を根本として、ひろく世界に影響をおよぼしていくことになる。そして、正統教義に反するとされた教派は、異端とみなされた。異端とされたある一派は、後に中国に伝わり景教と称された。13 世紀になると、この一派は、フビライの弟、(9) (10) が初代君主であった国において一時保護される。しかし、同じ国の第 7 代の君主は、宗教 D へと改宗し、これを国教とするにいった。

[設問 1]

下線部 (ア) のバラモン教は、ヴァルナにもとづく宗教的制度と深く結びついていた。インドにおいて (11) (12) 年代に施行された憲法は、この宗教的制度に由来する差別を法的に禁止した。 (11) (12) に入る最も適切な数字を以下から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

- [01] 1910 [02] 1920 [03] 1930 [04] 1940
[05] 1950 [06] 1960 [07] 1970 [08] 1980

[設問 2]

下線部 (イ) に関連して、宗教Bに関わる薄い衣をまとった立像の生産地として知られ、また、宗教Cに関わる世界維持の神の化身クリシュナの生誕地とされるのは、 である。 に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 3]

下線部 (ウ) の王は、 を都と定めた。 に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 4]

下線部 (エ) のバグダードを都とした王朝では、官僚組織が次第に整備され、 とよばれる職位につく者が、カリフにつぐ権限をもつようになる。 に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 5]

下線部 (オ) のいくつかの王朝のうち、13世紀から14世紀にかけて統治をおこない、税制改革や軍事改革を実施した王朝は、 朝である。 に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 6]

下線部 (カ) に関連して、 公会議での教義をめぐる決定に反発したシリアの一派は、これをきっかけに、シリア教会として独自の発展をとげていった。 に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 7]

文章中の宗教Aから宗教Eについて、【ア】特定の教祖によって開かれたものではない宗教、【イ】一神教ではない宗教、の組み合わせとして最も適切なものを以下 [01] から [15] より選び、その番号を にマークしなさい。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| [01] 【ア】宗教A－【イ】宗教A | [09] 【ア】宗教C－【イ】宗教E |
| [02] 【ア】宗教A－【イ】宗教B | [10] 【ア】宗教D－【イ】宗教D |
| [03] 【ア】宗教A－【イ】宗教C | [11] 【ア】宗教D－【イ】宗教E |
| [04] 【ア】宗教B－【イ】宗教B | [12] 【ア】宗教D－【イ】宗教A |
| [05] 【ア】宗教B－【イ】宗教C | [13] 【ア】宗教E－【イ】宗教E |
| [06] 【ア】宗教B－【イ】宗教D | [14] 【ア】宗教E－【イ】宗教A |
| [07] 【ア】宗教C－【イ】宗教C | [15] 【ア】宗教E－【イ】宗教B |
| [08] 【ア】宗教C－【イ】宗教D | |

〔語群〕

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|------------------|
| 01. アクスム | 02. アジャンター | 03. アブー＝バクル | 04. アミール |
| 05. アリクブケ | 06. アルダシール | 07. イマーム | 08. ウアレリアヌス |
| 09. ウマル | 10. ウラマー | 11. エフェソス | 12. エローラ |
| 13. オゴタイ | 14. ガーナ | 15. カナウジ | 16. カネム＝ボルヌー |
| 17. カルケドン | 18. クシナガラ | 19. クシュ | 20. クテシフォン |
| 21. ゴール | 22. コンスタンツ | 23. サイド | 24. サールナート |
| 25. サレー | 26. シャープール | 27. チャンドラグプタ | 28. トウグルク |
| 29. ナーランダー | 30. ニケーア | 31. バガン | 32. バクトラ |
| 33. パータリプトラ | 34. バトウ | 35. ハルジー | 36. ハールーン＝アッラシード |
| 37. ブッダガヤ | 38. フラグ | 39. プルシャプラ | 40. ベニン |
| 41. ホスロー | 42. マトウラー | 43. マリ | 44. マワーリー |
| 45. マンスール | 46. ミラノ | 47. ムアーウィヤ | 48. モンケ |
| 49. ロディー | 50. ワズィール | | |